



令和5年度

多北高 FRH 通信 第01号

令和5年6月1日(木)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

2023 年度多北高 FRH について

多治見北高校は、令和2年度から岐阜県の FRH 指定を受け、FRH 事業を実施しています。FRH とは「地域共創フラッグシップハイスクール (Flagship of Regional co-creation High school) のことです。本通信で、その様子を随時お知らせしていきますので、よろしくお願いいたします。

○FRH の目的

地域の魅力を知り、課題を発見・解決することで、地域の将来を担う当事者としての意識を向上させるとともに、グローバル化に対応するコミュニケーション能力や課題解決力等の国際的素養を身に付け、地域創生などの様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

○多治見北高校 FRH 事業実施計画

1 研究主題

未来を切り拓く広い視野をもち、豊かな情報発信能力を有する「グローバルリーダー」の育成

2 研究主題設定の理由

本校の生徒には地域社会やグローバル社会におけるリーダーとしての活躍が期待される。地域に根付いた文化やその背景となる歴史に触れると同時に他の地域環境や最先端の研究に触れることで、連綿と続く歴史の上にある未来社会という考え方、地域社会がグローバル社会へと続いているという考え方が養われる。加えて、問題解決のための基礎的汎用的能力や情報発信能力を伸ばさせることで、培ってきた知識の活用方法を身につけることができる。これらの力が十分に養われることによって、どのような環境であっても自ら先頭に立ち、未来を切り拓く力が育まれると考え、本主題を設定した。

3 研究計画

「グローバルリーダー」の育成のため、ボランティア活動、地域研究、高大連携、各研究機関との連携などを通して、様々な機会を生徒に提供する。それぞれの事業は、5つの柱で展開する。

発見する (Discover)	探る (Explore)	思考する (Think)	発信する (Send)	振り返る (Review)
「主体的な情報収集活動」及び「地域課題の発掘」により、地域の魅力や課題を発見する。	基礎的汎用的知識を活用し、複合的・多角的に物事にとらえ、問題解決方法を探る。	過去から未来へ、地域からグローバルへと思考を広げ、問題解決方法を思考する。	発表の場に留まらず、外国語や適切な情報発信ツールを使い、効果的に情報発信する。	自身で探究し、発信した内容を振り返り、「グローバルリーダー」として成長する。

4 研究事案(令和5年4月時点での計画)

○実施予定行事(授業時間内)

1年生	2年生	3年生
進路探究発表会(全校) キャリアデザイン講演会 探究活動(全3部) (NIE・ビブリオバトル・沖縄について・地元について、「調べ学習・発表・振り返り」を行う) Exploration Day with Researchers I (名古屋市立大学・名古屋工業大学・愛知県立大学) 進路研究発表会(1年生) 沖縄講演・多治見研究発表会	進路探究発表会(全校) 沖縄研究 沖縄研究合同発表会 Exploration Day with Researchers2(名古屋大学) 地元研究 英語プレゼンテーション講座	進路探究発表会(全校)

○実施予定行事(授業時間外:土日・長期休暇中)

大学との連携	博物館等との連携	その他
名古屋大学 (理、工、農学部など) 岐阜大学 (応用生物科学部など) 岐阜薬科大学 (創薬科学など) 中部大学 (工、人文、国際関係学部など)	サイエンスワールド 岐阜県博物館研修 豊橋市自然史博物館 博物館明治村研修	乗鞍フィールドワーク 模擬国連 模擬国連東海大会 AJEMUN(全国教育模擬国連) 岐阜・多治見北会議 SSS (スーパーハイスクールセッション) 名大 MIRAI GSC 名大みらい育成プロジェクト ロースクール座談会 研修医と語ろう エンパワーメントプログラム 海外進学座談会